

大容量 CAD や映像データのセキュアな送受信において 日立「JP1」とデジタルアーツ「FinalCode®」が連携

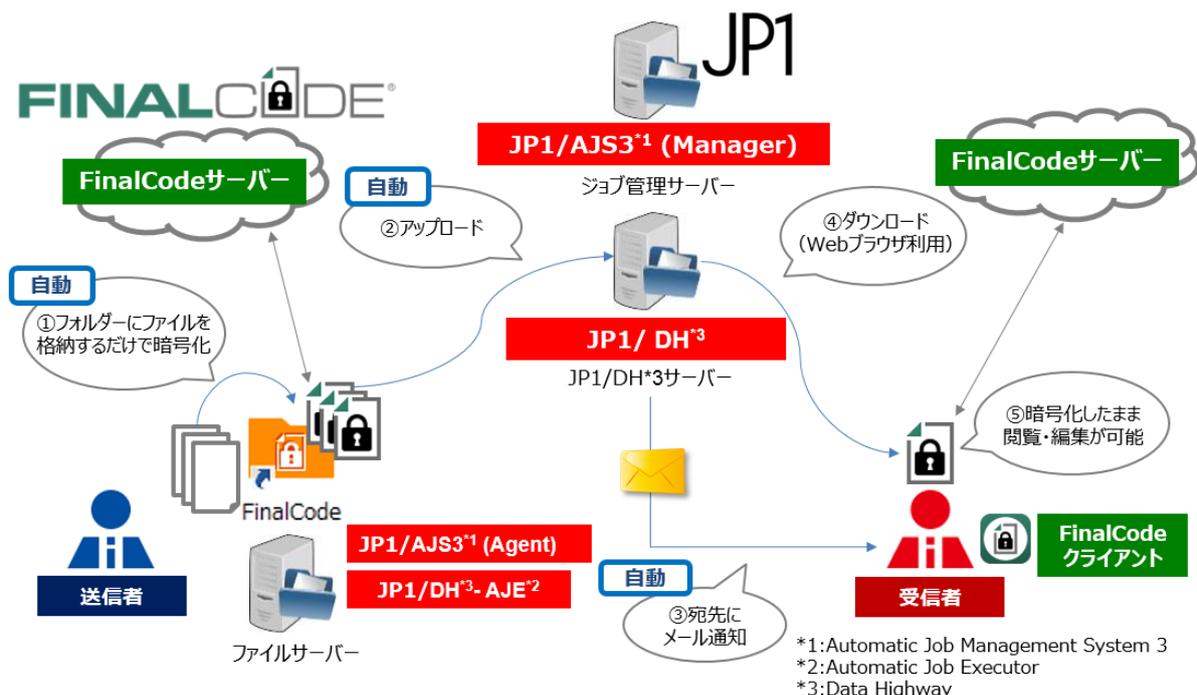
～国内外問わず大容量データをセキュアでスピーディーに送受信・転送が可能に～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下デジタルアーツ、証券コード 2326)は、株式会社日立製作所(本社:東京都千代田区、執行役社長兼COO:東原 敏昭)が提供する統合システム運用管理「JP1」と、企業・官公庁向けパスワード不要のファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode(ファイナルコード)」の連携を発表いたします。

昨今、社会問題となっている企業や公的機関の機密情報漏洩事件は、従来のセキュリティ対策では完全な情報漏洩阻止は難しいのが現状です。また、グローバルビジネス展開のスピード化やセキュリティ対応がビジネスでは非常に重要になってきております。このような中で国内外問わず業務データのやりとりが課題となっているお客様に対して大容量データを高速かつセキュアに転送する連携ソリューション「JP1/Data Highway」「JP1/Automatic Job Management System 3」と、データ転送前後でのデータセキュリティ強化において「FinalCode」を連携することで、ビジネスに必要なスピードとセキュリティの価値の両方を提供できると考えています。

デジタルアーツでは、「FinalCode」の最新バージョン(Ver.5)を1月11日より提供開始し、新バージョンでは共有フォルダー内のファイルを自動暗号化できる機能や、組織構造や役職・役割に応じてセキュリティポリシーを柔軟に設計できる機能などグローバルなIRM市場をサポートするための大幅な機能改善がされています。

一方、「JP1」は、業務運用の自動化や稼働監視、IT資産管理、セキュリティ管理など、ITシステムの運用管理の効率化を統合的に支援する「国内トップシェアの運用管理ソフトウェア」*1です。1月13日には、ビジネス環境の変化に迅速かつ柔軟に対応する統合システム運用管理として「JP1 Version 11」を販売開始しております。



日立「JP1」とデジタルアーツ「FinalCode」の連携イメージ

PRESS RELEASE

今回の「FinalCode」と「JP1/Data Highway」「JP1/Automatic Job Management System 3」の連携において、大容量データの運搬コストや作業による人件費低減、安定・高速・安全な転送、強固なデータセキュリティ運用の実現をご検討の企業様においても非常に有効なソリューションと考えております。特に製造系や建築系、放送系、コンテンツ制作事業者に広く利用されている 2 次元/3 次元 CAD データや機密情報である設計データ、映像データなど安全で効率的な受渡しや持出管理、委託先からの情報漏洩対策に対して力を発揮すると考えています。

デジタルアーツは、「JP1/Data Highway」「JP1/Automatic Job Management System 3」と「FinalCode」の連携ソリューションを通じて、日本だけでなくグローバルレベルで活躍する企業や各国の官公庁に対し、大容量データをセキュアでスピーディーに送受信・転送できるよりよい環境の実現を目指して、連携を強化してまいります。

※1 出典:テクノ・システム・リサーチ 2015 年 8 月

■セミナー開催予定について

3 月 4 日(金)に日立製作所が開催する無料のセミナー「JP1 フォーラム～IT 運用にイノベーションを！～」において、この度の「FinalCode」と「JP1/Data Highway」「JP1/Automatic Job Management System 3」の連携ソリューションについてもご紹介いたします。

セミナーサイト: <http://www.hitachi.co.jp/it-pf/jp1-f/>

■ 統合システム運用管理「JP1」について <http://www.hitachi.co.jp/jp1/>

JP1 は 1994 年より日立が提供しているシステム運用管理ソフトウェア製品&サービスです。日立が長年培ってきた豊富な技術を結集し、「自動化」、「見える化」、「俊敏性」、「最適投資」、「伸縮自在」といった「今」の運用管理に求められる要件に合わせて進化し続けています。オートメーション、モニタリング、コンプライアンスの 3 分野で、よりスマートな IT 運用を実現し、お客さまのビジネスの継続的な発展を支援します。

■ 「FinalCode」について <http://www.finalcode.com/jp/>

「FinalCode」はファイル暗号化・追跡ソリューション(ファイル暗号化ソフト)です。ファイル単位で指定した人やグループのみが閲覧できるように制限できるため、仮にファイルが流出しても中の情報は漏洩しません。また、いつでもリモートで権限変更や一括消去ができるため、ファイルが手元を離れた後でも管理し続けることができます。しかも、社外に暗号化したままファイルを渡す時でも、社外のユーザーに費用はかかりません。自社の重要な情報資産を社内から社外までボーダーレスにコントロールすることができる「FinalCode」は、様々な情報漏洩リスクにさらされる企業・組織に安心を提供します。

■ デジタルアーツについて <http://www.daj.jp>

デジタルアーツは、フィルタリング技術を核に、情報セキュリティ事業を展開する企業です。製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して行い、国産初の Web フィルタリングソフトを市場に出したメーカーならではの付加価値を提供しています。また、フィルタリング製品の根幹を支える国内最大級の Web フィルタリングデータベースと、世界 27 の国と地域で特許を取得した技術力が高く評価されています。国内でトップシェアを誇る Web フィルタリングソフトとして、家庭および個人向け「i-フィルター」・企業向け「i-FILTER」「i-FILTER ブラウザー & クラウド」を提供する他、企業向けとして電子メールセキュリティソフト「m-FILTER」、クライアント型電子メール誤送信防止ソフト「m-FILTER MailAdviser」、純国産のセキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」、ファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」を提供しています。

※ デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File Scan、D-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

※ FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。

※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。